

令和3年度 自己評価結果公表シート

幼保連携型認定こども園 西光こども園

1. 本園の教育・保育目標	
理念	・生かされているいのちにめざめともに育ちあう ・豊かな宗教的情操教育の中で、心身の調和的な発達を図り、一人ひとりの幼児が幸せな生活のできるいしづえを築く
目標	生命を大切にする子どもを育てる ・まことに生きる（自立性） ・思いやりのある子（協調性） ・話を良く聞く子（自律性） ・仲良くする子（社会性）
2. 評価項目	
① 研修は形をかえて実施されると思われるので、キャリアアップ研修や全般的に皆が学べる場を確保し、全体で共有する。 ② 園を広く周知させる。インスタグラムなど検討中。 ③ コロナ禍でもその都度見直しをしながら行事等内容を皆で検討してできることをする。 ④ 地域とのかかわり方を考える。 ⑤ 生命の大切さ（生かされている命）を伝える教育・保育を心がける。	
3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）	
① 研修はできるだけ参加した。リモートの研修環境を整えてできるようにした。研修したものを報告して皆で学んだ。教育・保育方法をお互い協力しながら教育・保育をしてきた。 ② コロナ禍で、外部の催しもなくなったりして外部とのかかわりもなかなかできない中、園での取り組みや行事を園だよりやHP、文書等で知らせた。インスタグラムを始めた。まだ手探りではあるがよくみて下さっているようだ。 ③ 出来ることを皆で話し合い考えながら行った。感染症拡大予防対策をして保育参観などの行事に参加される方は一週間前から検温をしていただく、換気をする、消毒をする、距離を保つ等ご協力いただき、形を変えながらも昨年度より行事が行えた。毎日の保護者、園児、職員の検温等、皆気持ちよく実施していただきありがたく思っている。 ④ 地域とのかかわりはコロナ禍で難しかったがボランティアの方が来てくださったり職場体験等も対策をしながら状況をみて可能な限り受け入れた。子ども達も楽しく過ごせていた。 ⑤ 生命の大切さ(生かされている命)は日ごろから教育・保育の根底にあるものである。今年度も畑で野菜等を育て収穫したりして育てていくことや生き物と接すること等を通して命の大切さを確認した。自分たちは多くのいのちをいただいて生かされている。食べ物も多くのいのちや人々が関わって食べられている。感謝の心がもてるようにわかりやすく伝えていくことを考えて教育・保育した。	
4. 来年度、重点的に取り組む目標・計画	
1 コロナ禍で自分たちにできることを皆で考え話し合いながら思い込みではなく共通理解をして次に進むようにしていく。子ども達も遊びを通して自ら考え伝え行動する機会を増やす。 2 地域の方や一人暮らしの方等が子供たちと関わることによりお互いに笑顔が増えて生きる力が湧いてくるような関わりを考えて実践する。生命のつながりをしっかり伝える。 3 広報のインスタグラム等を充実させる。 4 教育・保育の内容を確認しながら子供たちと共に成長できる日々を過ごす。 5 保育環境の見直しをしながら環境を整える。	